

## 草の根技術協力（パートナー型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	パラオ共和国
2. 案件名	パラオ国コロール州におけるリサイクル活動及びベラウ・エコ・グラス事業の強化プロジェクト（草の根パートナー型）
3. 事業の背景と必要性	パラオは豊かな自然環境を活かした観光産業が経済発展の中核であり、環境保護と経済発展の両立を目指す「持続可能な観光」を重視している。持続的な観光開発のためには、適切な環境管理が必要であり、そのためにゴミの減量化や3Rを促進することが喫緊の課題となっている。パラオ開発計画2023-2026（Palau Development Plan 2023-2026）では、民間リサイクル業者への動機付けやリサイクルプログラムの拡充が重点プログラムとして位置付けられている。2022年2月～2025年2月に実施された草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）「リサイクルセンターにおけるベラウ・エコ・グラス（廃ガラスを活用したガラス工房）の事業軌道化」では、同国の循環型社会の形成を目指し、コロール州廃棄物管理事務所に整備されたベラウ・エコ・グラスセンターを体験型の観光／環境学習施設として機能させるための技術協力が行われた。本事業は、上記案件の成果をさらに発展させ、ガラス工芸事業の原燃料となる廃棄物のリサイクル活動推進とベラウ・エコ・グラス事業を含む廃棄物管理事務所の運営能力強化を目指すものであり、同国の課題解決に寄与するものである。
4. プロジェクト目標	コロール州廃棄物管理事務所の運営能力が強化される
5. 対象地域	コロール州
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	1)直接受益者：回収活動に参加する地域住民（約100人）、小学校1校の生徒80人（4年生）、廃棄物管理事務所スタッフ12名及び新規雇用5名 2)間接受益者：コロール州の住民12,000人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域住民のリサイクル意識が向上し、ガラス製品制作時のエネルギー原料となるプラスチック回収量が増える</li> <li>ベラウ・エコ・グラスのエネルギー源となる油化施設の稼働率が向上する</li> <li>ベラウ・エコ・グラスの工芸スタッフにより新規人材が育成される</li> <li>ベラウ・エコ・グラスの原材料の幅が広がり、付加価値の高い製品が創出される</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1 小学校における体験型環境教育の実施 <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1-1 学校における環境教育の授業内容、体験学習プログラムの作成</li> <li>1-1-2 州内の小学校1校（連携校）に環境教育の授業と体験学習の提案</li> <li>1-1-3 授業教材・体験学習資料の開発・提案</li> <li>1-1-4 事業主体から現地スタッフへの実地研修</li> <li>1-1-5 授業教材・体験学習資料の改善</li> <li>1-1-6 現地スタッフから学校教師への研修の実施</li> <li>1-1-7 学校教師による授業に対する現地スタッフからのフィードバック・改善</li> <li>1-1-8 連携校の環境教育年間計画案・改善後の教材の提案、他校への実施提案</li> </ol> </li> <li>1-2 プラスチック回収協力世帯数の増加 <ol style="list-style-type: none"> <li>1-2-1 体験環境教育を行う小学校の生徒世帯へプラスチック回収協力を依頼</li> <li>1-2-2 ナイトマーケットでプラスチック回収ボックスの設置、パネルとアナウンスによる分別・回収啓蒙活動</li> <li>1-2-3 ナイトマーケットで地域住民世帯へプラスチック回収協力を依頼</li> </ol> </li> <li>2-1 専門家による油化設備の状態チェック、安全性の評価</li> <li>2-2 専門家による設備運用状況のチェックと効率運用・設備改善・シフト体制の提案</li> <li>2-3 専門家による効率運用の提案に対して現地スタッフでワークショップを実施</li> <li>2-4 ユニトリリーダー及び施設管理者にコスト意識、収支分析に関する研修実施</li> <li>2-5 油化設備の運用マニュアルの改善</li> </ol>

	<p>2-6 現地スタッフの油化設備に関する基礎知識を評価</p> <p>2-7 専門家から油化設備に関する基礎知識の研修を実施</p> <p>2-8 専門家からユニットリーダーへ設備管理者研修を実施</p> <p>2-9 ユニットリーダー主導のもとで油化施設の稼働を実施</p> <p>3-1 専門家が各ガラス技法の適性を見定めるチェックシートを作成</p> <p>3-2 専門家が各ガラス技法の適性に応じて指導する技術指導マニュアルを作成</p> <p>3-3 専門家が現ガラススタッフの技術指導員としてのスキルチェックシートを作成</p> <p>3-4 現ガラススタッフが 3-1、3-2 を基に、新規スタッフの適性レベルを判断し、技術適性確認を行う研修を実施</p> <p>3-5 チェックシートによる現ガラススタッフの技術指導レベルの評価</p> <p>3-6 チェックシート、技術指導マニュアルの見直し</p> <p>3-7 専門家及び現ガラススタッフが地元の高校・短期大学生を対象にした職業体験プログラムを開発</p> <p>3-8 地元の高校・短期大学に職業体験プログラムを提案</p> <p>3-9 地元の高校・短期大学と連携し、現ガラススタッフが職業体験学習プログラムを実施</p> <p>3-10 専門家と現ガラススタッフで職業体験学習プログラムを評価</p> <p>4-1 ベラウ・エコ・ガラスの現ガラススタッフの発想力・表現力の強化の研修の実施</p> <p>4-1-1 現ガラススタッフ自らが作品コンセプトを設定し、作品制作を行えるように専門家から研修・指導を実施</p> <p>4-1-2 国内イベント(ナイトマーケット等)における作品展示</p> <p>4-1-3 専門家から国外コンペに出展するための高度なガラス技術指導の実施</p> <p>4-1-4 現ガラススタッフによる国外コンペへの制作作品の出展</p> <p>4-1-5 ホテル、空港など公共性の高い施設へガラスモニュメントなどの提案・設置を行う。</p> <p>4-2 パラオ国内で発生する金属廃材を利用し、現技術スタッフへ金属工芸技術研修を実施</p> <p>4-2-1 金属加工専門家による現地調査、廃金属素材と使用機材の検討</p> <p>4-2-2 金属加工技術のスタッフ用スキルチェックリストの作成</p> <p>4-2-3 金属加工専門家による金属加工基礎研修の実施</p> <p>4-2-4 4-2-2 を基にした技術レビュー、評価</p> <p>4-2-5 現地スタッフによる金属加工作品の制作</p>
8. 実施期間	(西暦) 2026 年 3 月～ 2029 年 2 月 (3 年)
9. 事業費概算額	99,829 千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	コロール州公共事業局廃棄物管理事務所
<b>II. 団体の概要</b>	
1. 実施団体/指定団体	アマタホールディングス株式会社
2. 主な活動内容	<p>45 年以上に渡り培ったサステナビリティ分野のノウハウ、良質なネットワーク及び人・資源・情報などの経営資本を活かし、サステナビリティ市場における持続可能な企業経営・地域運営を統合的に支援し、社会の持続性と関係性を向上する「社会デザイン事業」の開発・提供に取り組んでいる。</p> <p>■「社会デザイン事業」の内容</p> <p>(1) トランジションストラテジー事業 持続可能な企業経営、地域運営への移行戦略支援</p> <p>(2) サーキュラーマテリアル事業 持続可能な調達・資源活用の総合ソリューション</p> <p>(3) 海外統括事業 海外における産業廃棄物の 100%再資源化事業環境コンサルティング事業</p> <p>(4) サーキュラーマネジメント事業 廃棄物管理システム・サステナブル BPO を提供</p>